

# 魅力ある学校づくり地域協議会通信

発行 魅力ある学校づくり地域協議会支援会議  
宇都宮市教育委員会事務局生涯学習課

## 「魅力ある学校づくり地域協議会情報交換会及び講演会」の報告について

- ・ 標記研修会（市教委、魅力ある学校づくり地域協議会支援会議共催）が、平成 28 年 1 月 21 日に市役所 14 階大会議室で、98 名の関係者の方の参加を得て開催されました。
- ・ 当日は、地域協議会や学校の代表者、地域コーディネーターを対象に、地域による学校支援の充実について、現代の日本の子ども達が置かれている状況を踏まえた支援の方向性を学ぶとともに、各地域協議会の取組について情報共有し、今後の取組の参考にするための方策について再確認したところです。
- ・ 当日参加された皆様には、研修会を振り返れるよう、また、当日参加できなかった皆様には、今後の活動の参考として、研修会の様子をお知らせします。

### 第 1 部 講話 「地域による学校支援の充実について ～魅力ある学校づくり地域協議会の活動を通して～」

NPO 法人スクール・アドバイス・ネットワーク 理事長 生重 幸恵 氏

- 今後の 10～20 年間で約 47% の仕事が自動化されるという予想や子ども達の 65% は、大学卒業後、今は存在しない職業に就くことになるという予想、これからの生産年齢人口が減少する見込みであることなど、現代の子ども達を取り巻く不安要素は多い。
- 現在、学校や会社、地域団体などのカテゴリーに全く所属していない引きこもりが、15 歳～29 歳で約 70 万人いると言われている。
- これらの厳しい環境から子ども達を守るためにも、保護者や地域の人から、子ども達を心理的に解きほぐすような声掛けを日常的に行うことが大切である。そのためには、地域の大人はもとより、大学生なども気軽に学校に出入りできる環境が大切である。
- 家庭で褒められた経験が少ない子どもは、大人を信用しておらず、将来への希望を抱きにくい。学習意欲が低い傾向にある。保護者だけでなく、地域の大人が日頃から声を掛け、話を聞き、褒めてあげることで、子どもは大人を信用し、将来への希望や主体性を持つようになる。
- 地域コーディネーターの役割とは、どこの地域にも必ずある①人的リソース②社会的リソース③物的リソースの 3 要素を地域の実情に応じて効果的に組み合わせること、地域教育の中に「協働」関係をつくり出し、子どもの教育支援に振り向けることである。



## 第2部 グループ別情報交換

○小学校・中学校の区分ごとに、近隣の地域と情報交換ができるよう組み合わせたグループで、各地域協議会における①学校が求める支援の把握、②学校支援ボランティア等による学校支援の充実について、意見交換・情報共有を行いました。グループ協議の中での主な意見を紹介します。

### ① 学校が求める支援の把握について

#### 【現状】

- ・学校から地域コーディネーターへの支援要請がほとんどない。(中学校)
- ・学校教員が、地域協議会の活動の様子や内容について十分に理解していないため、地域コーディネーターにどのような依頼をして良いか分かっていない。
- ・学校教員が忙しいため、地域コーディネーターと頻りに連絡を取り合うことが難しい状況である。



#### 【改善方策】

- ・年度当初に地域協議会から「お助けカード」を学校側に配布し、出てきた要望を地域協議会で検討し、できるものを実践する。
- ・学校教員を対象に、求める支援内容についてアンケートを取り、地域連携教員等が集約して、地域コーディネーターに情報提供を行うという仕組みを整えることが必要である。そうすることで効果的に学校支援ボランティアの募集を行うことができる。
- ・学校に出向く機会を多くすることで、学校が必要としている支援の内容がよく分かる。
- ・LINE等のスマホアプリを活用することで学校教員と地域コーディネーターが気軽に連絡を取れるようになる。

### ② 学校支援ボランティア等による学校支援の充実について

#### 【現状】

- ・既存の行事の無理な一本化が見られ、それぞれの行事の特性が損なわれている。
- ・高齢の方でも簡単に参加できる学校支援ボランティアの活動があると良い。
- ・小学校に比べ学習内容が高度になることから、学習支援が難しい。(中学校)
- ・土日も部活や既存の行事があり、新たに活動を始めることが難しい。(中学校)
- ・学校支援ボランティアの方がもっと目立ってもよいのではないか。



#### 【改善方策】

- ・学校行事に地域が、また地域行事に生徒が参加協力することで相互協力体制が生まれる。
- ・学校まで足を運ぶことが困難な高齢者等の潜在的なボランティアを有効活用するために、「自宅前での立哨活動」など、簡単に参加できる活動を広げていく。
- ・学習支援や部活動支援に卒業生や大学生に協力してもらう。(中学校)
- ・防災訓練等の地域行事の場に地域協議会が赴き、炊き出しの手伝い等に参加し、地域の方々に地域協議会のことを知ってもらうことで、学校支援への協力者が増える。(中学校)
- ・ペンキ塗り、除草、廊下の白線塗り等の活動を、子ども達に見てもらえる時間帯に行う。